

一般質問通告書

令和8年第2回議会定例会（令和8年6月）

質 問 者（7名）

① 田 尻 博 樹

② 西 文 男

③ 高 風 勝一郎

④ 福 川 勝 久

⑤ 長 山 美 香

⑥ 根 釜 昭一郎

⑦ 福 井 源乃介



知名町議会

通告順	議 席 1 番	田尻 博樹	令和8年6月	日
1			時 分	～ 時 分
1. フローラルホテルについて				
フローラルホテルは運用が始まって 30 年が経過している。 ① 近年経年劣化が見られるが、大規模改修又は修繕の計画を考えていないのか伺う。 ② 客室の稼働率が悪化していると思われるが、稼働率を上げる取組について伺う。 ③ 人手不足が経営上での課題の一つでもあると思われるが、解消に向けた取組について伺う。				
2. 町政80周年記念イベント事業について				
町民をはじめ子や孫に活力を与えるためにも、夏祭り花火大会時にドローンショーを提案するが、イベント事業についてどのような計画を立てているのか考えを伺う。				
3. 畑かん整備について				
① 12 月議会で散水機具（埋設スプリンクラー）については「一部、末端散水機具の導入経費を町で負担する」との答弁であったが、受益者負担はどのようなになったのか伺う。 ② 埋設スプリンクラーについては管理・修繕は誰が負担を負うのか伺う。 ③ 町が散水機具（埋設スプリンクラー）の助成をすることによって今後普及していくと思われるが、一方で賦課金の話し合いは進んでいるのか伺う。				
4. 農地の大区画化について				
近年、機械化や機械の大型化が進んでいる中、作業効率を上げるためにも、農地の大区画化が求められてくると思われるが、計画はないのか伺う。				

通告順	議 席 10 番	西 文男	令和8年6月	日
2			時 分	～ 時 分
1. 農業政策について				
① 令和7年度知名町農業生産振興計画書によりますと、農畜産物生産額令和6年度実績は農家数 731 戸で約 52.3 億円であると示されているが、各作物別に設定された目標生産額及び目標戸数はどのようなになっているか伺う。 ② 令和7年度農業振興計画書に基づく各作物別の目標生産額の未達成項目に対する今後の振興対策について伺う。 ③ 新城集落や屋子母集落沿の県道において、道路上へ張り出した高木の枝により、キビ運搬車に積載されたサトウキビが接触し、路肩等へ落下している状況が見受けられるが、県道沿線樹木の維持管理及び安全管理対策についてどのように対処しているか伺う。				
2. 町の空家対策について				
町内の空家の現状把握とデータベース化について伺う。				
3. 障がい者福祉について				
国の障がい者雇用促進の方針を踏まえ、知名町では障がい者をどのような職種及び勤務形態で雇用しているか。また、法定雇用率の達成状況について伺う。				
4. 教育行政について				
① 町内に町立小学校5校、中学校2校がありますが、現在教職員住宅について学校ごとの設置戸数、入居状況、空き家住宅数及び老朽化に伴う使用停止住宅はどのようなになっているか伺う。 ② 教職員住宅の退室後に実施される水回り設備、床、建具等の修繕並びに補修等の原状回復について、町としての規定又はガイドライン等が定められているか伺う。				

通告順	議 席 6 番	高風 勝一郎	令和8年6月	日
3			時 分	～ 時 分
1. 「通学路における緊急合同点検」のその後について				
平成24年4月以降、登下校中の児童の列に自動車が入り込み、死傷者が多数発生しました。このような状況を踏まえ、文部科学省、国土交通省、警察省の3省庁が連携し、学校、教育委員会、町、警察署等の関係機関が協働して、緊急の合同点検など、通学路における交通安全を早期に確保する取り組みを全国的に行うこととなりました。本町では令和3年9月に全町立小学校の通学路における緊急合同点検を実施していますが、以下について点検結果のその後の対応を伺う。 ① 上城小学校区で「小学校から新城までの坂道において、道路の勾配も大きく、歩道と排水溝がないので雨天時はかなり危険。また、草木が路肩にかかり、歩道スペースがない。」 ② 知名小学校区で「知名から屋子母の県道国頭知名線において、歩道スペースが狭く、交通量も多いので危険。」 ③ 知名小学校区で「瀬利覚向田神社前の町道において、外側線が消えており、歩道もなく危険。」 ④ 知名小学校区で「知名小学校からフローラルハイツにおいて、急な下り坂でスピードを出す車が多いため、団地から団地に横断する際に危険。」				
2. 「知名町子供の移動経路/通学路等の交通安全プログラム」のその後について				
知名町子どもの移動経路／通学路等安全推進協議会においては、令和3年9月に本プログラムにかかる報告書が取りまとめられているところである。 ついては、同プログラムに基づく取組の進捗及びその後の対応について、以下のとおり伺う。 ① 緊急合同点検の実施後も継続的に合同点検を実施するとともに、対策実施後の効果・把握を行い、必要に応じて対策の改善・充実を図ることとされているが、現在の取組状況及び成果について伺う。				

- ② 合同点検については、小中学校区ごとに、子供の移動経路の安全確保上、緊急性の高い箇所を抽出し、年1回実施することとされている。また、重点課題の設定による実施も行うこととされているが、現在の実施状況及び課題認識について伺う。
- ③ 合同点検の結果に基づき抽出された対策必要箇所については、歩道整備、防護柵設置等のハード対策や、交通安全教育等のソフト対策を組み合わせた対応を行うこととされているが、各対策の実施状況について伺う。
- ④ 対策一覧表の下平川小学校区において、「沖永良部高校付近における歩道未整備区間」について危険性が指摘されているが、その後の対応状況及び今後の整備方針について伺う。

3. 知名町教育振興基本計画（令和6～10年度版について）

- ① 特別支援教育の充実において、大島特別支援学校沖永良部特別支援教育コーディネーターの活用推進。また、特別支援連携協議会、教育支援協議会の充実とあるが、どのような取組をしているか伺う。
- ② 郷土教育の充実において、「わたしたちの沖永良部」改訂版の検討とある。令和元年度に作成し6年経過しているが、改訂の予定はあるか。また各学校において今までどのように活用されているか伺う。
- ③ 読書活用の推進において、移動図書館車「えらぶつくカー」の効率的な活用とあるが、どのように活用されているか伺う。
- ④ 地域ぐるみでの安全・安心な学校づくりにおいて、スクールガードリーダーによる通学路等の安全指導とあるが、どのような取組をしているか伺う。

通告順	議席 7 番	福川 勝久	令和8年6月 日
4			時 分 ~ 時 分
1. ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業について			
えらぶゆり電力との契約解除及び破産手続き開始決定を受け、今後の事業継続についても町民も大きな関心を持っております。 そこで、次の点について伺います。 ① 新たな PPA 事業者の選定状況について伺います。 現在、代替事業者のめどは立っているのか。また、いつ頃の事業再開を想定しているのかお示してください。 ② ゼロカーボンアイランド事業の現在の進捗状況について伺います。 契約解除後、事業は現在どのような状況にあり、町として今後どのように進めていく考えなのかお聞かせください。 ③ 6月4日に予定されている債権者集会では、どのような説明や結果報告があったのか伺います。 ④ えらぶゆり電力が所有していた設備や財産、また途中まで工事していた施設等について、今後どのように扱われる予定なのか伺います。			
2. 生ごみ処理機（ディスポーザー）の導入可能性について			
現在、家庭から排出される生ごみは、悪臭や害虫発生の原因となるほか、ごみ収集・焼却処理においても大きな負担となっております。 特に離島地域においては、ごみ処理コストや焼却施設への負担軽減が重要な課題であると考えます。 そのような中、近年では、生ごみを粉碎し排水として処理する「ディスポーザー方式」の生ごみ処理機が注目されております。 生ごみ減量や衛生環境改善、ゼロカーボン推進の観点からも有効ではないかと考えます。 そこで、次の点について伺います。 ① 本町における生ごみ処理の現状と課題について伺います。 ② ディスポーザー方式の生ごみ処理機について、町として調査・研究を行ったことがあるのか伺います。			

③ ディスポーザー導入によるごみ減量効果や、焼却施設への負担軽減について、町はどのように考えているのか伺います。

④ 下水道や浄化槽への影響、安全性、導入課題について、町の見解を伺います。

⑤ 他自治体ではディスポーザー排水処理システムへの補助制度やモデル導入事業を実施している事例もあります。本町においても、ごみ減量化や焼却施設負担軽減、ゼロカーボン推進の観点から、先進自治体の事例調査やモデル導入について検討する考えはないか伺います。

3. 災害時における避難経路の確保について

地震や津波などの災害発生時には、住民が迅速かつ安全に高台へ避難できる体制整備が重要であります。

特に、津波警報発令時には、多くの住民や車両が一斉に避難することが想定されるため、避難道路の安全性や円滑な通行確保が必要であると考えます。

そこで、次の点について伺います。

① 本町における津波災害時の主要避難経路について、現在どのような整備・確認が行われているのか伺います。

② 避難時に渋滞や通行困難が想定される道路箇所について、町は課題を把握しているのか伺います。

③ 今後、避難道路の拡幅や改良、避難訓練等を含めた防災対策強化について、どのように取り組んでいく考えなのか伺います。

通告順	議 席 2 番	長 山 美 香	令和8年6月 日
5			時 分 ~ 時 分
1. 中東情勢における町内商工農漁業者への影響把握と公共サービスを含む町全体の支援策について			
① 現状の影響把握と関係団体との連携体制について 中東情勢の緊迫化に伴い、燃料や資材価格の上昇、物流の停滞が懸念されています。町は現場の「目詰まり」や困りごとをどのように把握し、商工会・JA・漁協等との関係団体とどのような情報共有をおこなっているか伺います。 ② 国・県の支援制度の周知と活用支援について 現在、中東情勢に特化した国の支援はまだ未整備ですが、今後メニューが出てきた際に、離島の小規模業者や農漁業者等がもれなく活用できるよう、どのような支援体制を考えているか伺います。 ③ 町独自の小規模支援と中長期的な負担軽減策について 2月に実施された商品券配布は「それまでの物価高騰対策」であり、今後中東情勢の影響が長期化した場合、町として独自の追加支援や中長期的な対策をどう検討していくか伺います。			
2. 旧庁舎跡地利用の再考について			
現在本町は多額の町債残高を抱え、物価高騰や水道料金の改定、ゼロカーボン政策など将来への不透明な課題が山積しています。このような状況下で旧庁舎跡地に大規模な「島の駅」構想を計画どおりに進めることは財政的なリスクが大きいのではないのでしょうか。町民のみなさんが安心して見守れるよう計画の練り直しや一旦ペースを落として熟考する方向を提案したいのですが町長の考えを伺います。			

通告順	議 席 9 番	根釜 昭一郎	令和8年6月	日
6			時 分	～ 時 分
1. 行方不明者等の搜索活動時の体制について				
行方不明者等の発生時には、警察・消防・役場・地域住民等で協力体制を整え、解決に向けて尽力されていることに日頃より感謝しております。 しかしながら、実際の現場にては指揮系統や連絡体制が統一されていない等の声や、出動協力者への補償や費用負担について、明確な整理が十分とは言えないなどの声が聞こえてきます。 高齢者が増加している現状を踏まえ、夏場に向けて海難事故の発生が懸念されることから、質問します。 ① 指揮命令系統はどのように整理されているのか。 ② 搜索活動の協力者へ費用助成や補償はどうされているのか。 ③ 二次災害防止の観点から、協力者の安全管理や活動範囲について、どのように配慮しているか。				
2. 沖永良部空港の機能強化について				
沖永良部空港の機能強化については、議会においても幾度となく議論されてきていますが、大変重要な課題であるとの認識から改めて質問します。 ① 町としての課題認識について伺います。町としては、沖永良部空港の課題をどのように捉えているか。 ② 防災基盤としての考えは持っていないか。 ③ ジェット化に向けては空港の利用者数を指摘されてきていますが、利用者数の増加に向けた取り組みはどうしているか。 ④ 利用者数が伸びない要因に航空運賃の高騰が大きく影響していると思うが、その対策をどう考えているか。 ⑤ 離島空港の特殊事情を踏まえ、国・県に対してジェット化要件の柔軟な運用や特例措置を求める考えはないか。				

通告順	議 席 11 番	福井 源乃介	令和8年6月	日
7			時 分	～ 時 分
1. 糖業振興対策について				
令和7年/8年期のさとうきびは2期連続の10万トン超えを達成し、沖永良部糖業の再生・復活が図られています。大規模化や高齢化による他作物からの参入により、今後もさとうきびは増加していくと推測しています。そこで新たな提案として ① 知名西部地区に日量 300 トン規模の南栄第2工場を官民挙げて建設に向けた調査・研究を始めるべきではありませんか。 ② 圧搾汁量を増やし処理量 1,000 トンに引き上げるため、圧搾機のミルロールを大型な物に更新する必要はありませんか。 ③ 中央制御室を設置して少人数による操作・監視・デジタル化など自動化に向けた調査・研究を始めるべきではありませんか。 ④ どの業種においても人手不足が顕著になっています。製糖期間中の人員確保について町も何らかの方策を検討すべきではありませんか。 ⑤ エネルギー自足のまち、バイオエタノールプラントの誘致に向けた調査・研究を始めるべきではありませんか。 ⑥ 数年前から黒穂病が発生しています。情報提供を行い周知徹底し、病株の早期発見と迅速な抜き取りと焼却を完璧に徹底すべきではありませんか。				
2. ブロッコリー栽培の推奨について				
国は 50 年ぶりにブロッコリーを新たに指定野菜に認定しました。生食用はアメリカから、冷凍品は中国から大量に輸入されています。ブロッコリースプラウトには有効成分スルフォラファンが含まれており健康志向とともにカット野菜や外食・弁当・冷凍食品など需要も拡大しています。冷凍保存も可能でロスも少なく、価格下落時の補給金や安定供給対策、指定産地制度などの支援もあり、新たな稼げる品目としてブロッコリー栽培を推奨していく考えはありませんか。				

3. 副町長就任2カ月について

今井町長は元栄副町長にどのような役割を担ってもらい共に町政を進めて行かれるのか。